

V. その他（代表理事 杉尾 哲）

1. 「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」を運営しました

この研究会は、宮崎県との協働事業として実施していて、本団体が事務局を務めました。河川等に関する行政や企業の技術者に対する多自然川づくりの人材育成として、年3回開催する水辺の工法研修会、うるおいのある川づくりコンペ、身近な水辺のモニター報告会、河川担当の行政職員を対象とした現地研修会を開催しています。特に本年度は、平成29年度に河川基金から助成を受けて実施した多自然川づくりの人材育成事業が平成30年度の優秀成果団体に選出され、平成31年1月27日に東京大学で開催された川づくり団体全国事例発表会において表彰されました。



●水辺の工法研修会の開催

平成30年度第1回研修会

実施日 5月31日(木) 会場：日向市中央公民館

6月1日(金) 会場：JAアズムホール

講師1 九州電力耳川水力整備事務所 中野大助 氏

題名 河川の蛇行と生物多様性

講師2 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 三橋弘宗 氏

題名 河川生態系の仕組みと整備計画づくり

両会場の合計参加者数：行政45名、民間632名



平成30年度第2回研修会

実施日 8月8日(水) 会場：日向市中央公民館

8月9日(木) 会場：JAアズムホール

講師1 岩手県県土整備部河川課 細川知美 氏

題名 岩手県における災害復旧と川づくりの取組み

講師2 鹿児島県県PR観光戦略部観光課 越迫由香里 氏

題名 ムクノキを活かした川づくりを目指して

両会場の合計参加者数：行政39名、民間500名



平成30年度第3回研修会

実施日 10月10日(火) 会場：日向市中央公民館

10月11日(水) 会場：JAアズムホール

講師1 延岡河川国道事務所 川元壊二 氏

題名 五ヶ瀬川水系における川づくり

講師2 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

増山晃太 氏

題名 風景の中の川づくり

両会場の合計参加者数：行政39名、民間343名



●身近な水辺のモニター担当者研修会の開催

各土木事務所で河川モニターと実施する五感による水辺調査とHEIチェックシートによる河川環境調査について、実施方法を解説して、雨天のため室内で実習を行いました。

実施日 平成30年5月22日(火)

会場 西部地区農村環境改善センター・本庄川

参加者数 県河川課と土木事務所 15名



●第12回うるおいのある川づくりコンペの開催

「私たちがめざすうるおいのある川や水辺はどんな姿なのか」について、河川で活動する企業・行政に呼びかけて開催しました。今年は、審査の結果、日向土木事務所と九州電力(株)耳川水力整備事務所の「耳川水系総合土砂管理計画を通じた川づくり」が金賞、西臼杵支庁の「神代川かわまちづくり」と高岡土木事務所の「浦之名川におけるセットバック方式の魚道整備について」が銀賞を受賞して、2件が宮崎県の代表として10月22-23日に熊本市で開催された九州川づくりコンペの発表課題に選出されました。

実施日 平成30年8月1日(水)

会場 宮崎県企業局県電ホール 発表団体数 13団体、

参加者数 87名



●河川担当行政職員を対象とした現地研修会の開催

宮崎県と国交省の河川担当職員を対象として、清武川水系岡川を対象とした多自然川づくりの理解と現地での技術の習得を目的として現地調査と設計演習、演習結果の発表を行いました。

実施日 平成30年11月21日(水)

会場 宮崎県建設技術センター、参加者数 14名



●第9回身近な水辺のモニター報告会の開催

県内各地の土木事務所で地域住民の方々をお願いしている水辺のモニターの意見を今後の川づくりに反映させるために、調査の成果を報告し、いろいろな情報交換を行いました。

実施日 平成31年2月12日(火)

会場 企業局県電ホール

発表団体数 12団体、参加者数 60名



以上の宮崎県との協働事業は、多自然川づくりが県内各地で推進されているとともに、耳川での住民・行政・民間業者・住民が一体となった取組みが12月に開催された平成30年度全国多自然川づくり会議において優秀な事例として高く評価されて選出されていることから、次世代にうるおいのある川を受け渡すために、今後もさらに充実させて実施すべきであると評価します。

2. 河川協力団体として活動しました

本団体は、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う大淀川水系の NPO 団体として平成 26 年 3 月に指定され、河川管理のパートナーとして活動しています。

●みやざき川づくり交流会の運営補佐

宮崎市内を流れる水流川と山崎川を見学し、宮崎河川国道事務所で各団体の活動紹介、国土交通省からのお知らせなどについて協議しました。

開催日 平成 30 年 9 月 25 日(火)

出席団体数 11 団体



●河川利活用事例収集、簡易水質調査実施補助

みやざき川づくり交流会に参加している各団体の活動状況の取材と宮崎河川国道事務所が本庄川で実施する地元小学校を対象とした水生生物調査の安全管理補助を行いました。

実施日 平成 30 年 9 月～平成 30 年 3 月

取材団体数 17 団体

●ミズベリング宮崎の実施

大淀川の景観・歴史・文化等の魅力などを活かしてワクワクする水辺をつくりだすために、企画会議を開催し、夜桜会、水辺のテーブルの親子イベントなどを実施しました。

実施日 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

夜桜会 平成 30 年 4 月 2 日(月)

会場 大淀川堤防 小戸神社前の桜堤防

水辺のテーブルの親子イベント

会場 大淀川天満橋上流せせらぎ水路

- ・大きいシャボン玉を飛ばそう 7 月 15 日(日)
- ・打ち水大作戦、竹で水鉄砲を作ろう 8 月 12 日(日)
- ・ウナギをつかんでみよう 9 月 9 日(日)

なお、実施を予定していた全国一斉の「水辺で乾杯」や親子イベントの「ヨシの葉で舟を作って流そう」と「星空を観察しよう」は、雨天によりやむなく中止しました。



●九州河川協力団体講習会(研修)に出席

九州河川協力団体連絡会議の活動として、今年度から次世代人材育成のための講習会が開催されることになり、九州内の河川協力団体 28 団体から 34 名が参加しました。当団体からは、池辺理事と北林会員の 2 名が出席して、九州地方整備局河川部や連絡会議役員などの講師から二日間にわたって九州の河川や防災、協力団体の役割、流域連携のあり方などについて学びました。

平成 30 年 9 月 15 日(土)～16 日(日)

会場 国土交通省九州技術事務所

●九州河川協力団体連絡会議の宮崎圏域会議と全体会に出席
宮崎圏域の3団体および九州全域の44団体で、次世代の育成や流域連合体の形成などの取組みについて協議し、国土交通省と意見交換しました。また、池辺理事は連絡会議の幹事として役員会に出席しています。

なお、全体会において令和2年度の九州「川」のワークショップの宮崎での開催を要請されましたので、宮崎県内の河川協力団体4団体で協議し、協力して開催することで回答しました。

宮崎圏域会議：平成30年11月26日(月)、会場 宮崎河川国道事務所

九州河川協力団体連絡会議全体会：平成31年3月8日(金)、会場 天神スカイホール



●大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会の特別シンポジウムと地域協議会に出席

大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会の主催で、大淀川の水環境を良くすることを目的に、産官学民が連携を強化し、地域と一体となった取組みを促進するため、地域住民の意見聴取を兼ねたシンポジウムが開催されました。また、大淀川の水環境の更なる改善に向け、新たな行動計画書が策定され、関係機関が取組みを推進することになりました。これらに、当団体の代表理事をはじめとする多くの会員が出席して意見を述べました。

特別シンポジウム：平成31年1月30日(水)、

会場 都城市ウェルネス交流プラザムジカホール

地域協議会：平成31年2月22日(金)、会場 ホテル中山荘



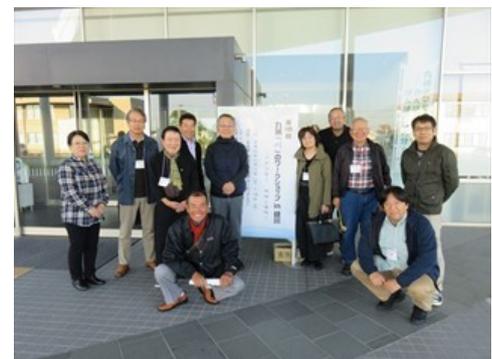
以上の河川協力団体の諸活動は、九州内の河川協力団体および県内の環境団体との連携を深めるとともに、国土交通省との相互理解を深め、本団体の活動を連携して推進するのに極めて重要であることから、今後とも積極的に継続すべき取り組みであると評価します。

3. 九州「川」のワークショップ in 緑川に参加しました

九州の川で活動する団体・学校・行政・企業などが一堂に会して活動発表などを行って交流しています。今年は熊本県で開催されたことから、みやざき川づくり交流会の5団体がバスで同行して参加しました。二日目の見学会では緑川の無田閘門と熊本城を見学しました。

開催日 平成30年11月17日(土)～18日(日)

開催場所 熊本県嘉島町民会館など



4. 環境学習指導者養成講習会を担当しました

宮崎市環境保全課から依頼されて、宮崎市が実施している平成30年度環境学習指導者養成講座(全9回)の第2回目「水辺環境調査」の理論と実習として、五感を使った水辺環境調査を指導しました。あいにく当日は台風による悪天候が予想されたため、会場を変更して実施しました。

実施日 平成30年8月25日(土)

実施場所 宮崎市役所会議棟、参加者数 6名



5. 第14回みやざき市民活動ドネーションに参加しました

このイベントは、様々な市民活動団体が手作りしたグッズを市民が購入することで、販売価格300円のうち200円は材料費として製作した団体へ還元され、100円は購入者が応援したい団体に寄付される取り組みです。

実施期間 平成30年9月1日～平成31年1月31日

主催 宮崎市民活動センター

今年度は、本団体から河川浄化液(えひめA I-2)を出品していたところ、20名の方々から寄付を頂きました。この貴重な浄財は本団体の活動費に充てさせていただきます。



九州「川」のワークショップは、九州の河川をフィールドとする活動発表や意見交換を通して、他の団体の活動手法を学び、今後の活動の糧となる貴重な機会です。また、環境学習指導者養成講座には、環境活動に熱心な住民が参加していて、住民の川への関心を高めるのに重要な機会になっています。さらに、市民活動ドネーションは、多くの市民に本団体を知ってもらって活動資金に寄付して頂く貴重な機会です。これらは、今後も積極的に継続すべき取り組みであると評価します。